「サイバーセキュリティセミナーin徳島」を開催

《AI時代におけるサイバーセキュリティ対策　～組織を守るための人材・技術・連携～》

- 総務省四国総合通信局及び四国サイバーセキュリティネットワーク（四国SEC※）は、令和８年１０月２８日(水)に**「サイバーセキュリティセミナーin徳島」**を**徳島市**で（ハイブリッド）開催し、**四国各県の企業、自治体、大学、国の機関**等から、現地・オンライン計**１３３名**の参加がありました。
- セミナーでは、生成AIによるサイバー攻撃の変化や組織に求められるセキュリティ対策、地域における人材育成・連携などについて講演を実施しました。
  本セミナーの開催は、参加企業・団体等にとって、サイバーセキュリティに関する知識や理解を深め、今後のサイバーセキュリティ対策強化や地域における人材育成・連携を図る契機となりました。



■基調講演

「生成AIはサイバー攻撃をどう変えたのか
～高度化する脅威と組織における対策と責任～」

総務省　サイバーセキュリティ統括官室　参事官補佐
高瀬　政徳　氏から、生成AIの進展によるサイバー攻撃の変化や最新事例、組織に求められる基本的な対策、国の施策についてご説明いただきました。



■講演

①「サイバー空間をめぐる脅威の情勢等」

徳島県警察本部　警務部　企画・サイバー警察局
サイバー戦略推進課　課長補佐　柘原　勇人　氏から、実際の事例を交えながらサイバー犯罪手口の高度化や企業がすべきサイバーセキュリティ対策についてご説明いただきました。



②「サイボウズは変化する脅威にどう備えるか
～AI活用と組織横断のセキュリティ対策～」

サイボウズ株式会社　開発本部　品質保証支援部　PSIRT
セキュリティエンジニア　湯浅　潤樹　氏から、AI時代の脆弱性探索やサイバー攻撃の変化と組織横断でのセキュリティ対応体制についてご説明いただきました。



③「地方にサイバーセキュリティ人材は根付くのか
～地域コミュニティの役割を考える～」

TOKUSHIMA　Cyber Security Meetup 発起人／代表
大西　翔太　氏から、地域に根付くサイバーセキュリティ人材の育成と、地域全体のセキュリティ対応力向上に向けた組織を越えるつながりの重要性についてご説明いただきました。

＜現地会場の様子　場所：四国大学交流プラザ　4階　第2セミナー室＞





＊参加者アンケートより

「大変参考となるセミナーだった。継続して開催して頂けるとうれしい」
「サイバーセキュリティに関する最新の動向や具体的な対策について理解を深めることができた」等

※「**四国サイバーセキュリティネットワーク（四国SEC）**」とは、総務省四国総合通信局と経済産業省四国経済産業局が、地域に根付いたセキュリティコミュニティの形成を図るため、通信事業者、地方公共団体、セキュリティ関係機関等の産学官民の団体が参加し、令和４年12月に設置されたものです。（現会員数：110）
https://www.soumu.go.jp/soutsu/shikoku/chiiki/shikoku-cybersecuritynet.html

（お問い合わせ先）四国総合通信局サイバーセキュリティ室（089-936-5044）